

会 議 録 (概要)

会議の名称	地産地消推進会議
開催日時	平成29年7月18日(火) 午後3時00分開会 午後5時00分閉会
場所	佐渡市役所 第6会議室
議題	1 平成29年度の取り組み計画および進捗 2 佐渡市地産地消フェスタの開催について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>向田 利一 (JA 佐渡とれたて部会赤泊)</p> <p>安田 清一 (佐渡アグリカルチャーシップ 有限会社)</p> <p>岩崎 成太 (新潟県漁業士会)</p> <p>甲斐 逸枝 (JA 佐渡女性部)</p> <p>磯部 健一郎 (JA 佐渡営農事業部園芸振興課)</p> <p>戸田 雅弘 (新印佐渡中央青果 株式会社)</p> <p>大瀬 順子 (佐渡特選市場)</p> <p>伊藤 哲夫 (有限会社 味彩)</p> <p>池野 一昭 (株式会社 佐渡乳業) (代理 甲斐氏)</p> <p>渡辺 明子 (音楽と陶芸の宿 花の木)</p> <p>後藤 裕美 (佐渡市 子ども若者課 園児支援係)</p> <p>吉良 美代子 (佐渡市 市民生活課 健康推進室 健康増進係)</p> <p>本間 洋子 (佐渡市 教育委員会 学校教育課)</p> <p>原田 健一 (佐渡市 農業政策課)</p> <p>松本 亜沙美 (佐渡市 農業政策課 生産振興係)</p> <p>小西 淳 (佐渡市 農業政策課 販売流通係)</p> <p>長島 崇史 (佐渡市 農業政策課 販売流通係)</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
座長：伊藤 司会：小西	別紙「地産地消取組計画」に沿って、各委員より説明。 欠席者については、事務局が代読。 質疑については、以下のとおり。
	（質疑応答）
渡辺	地産地消の取り組みにより、一部の旅館・ホテルは変わりつつある。 女将も食材調達に口を出すようになった。 ただ、夏の魚介類は特に目的のものが手に入りにくい。
岩崎	モノがあってもそれを運ぶ人がいないことが課題だと思う。
甲斐	伝統料理を教えられる人が学校などに講師で来てもらう、人材バンクの 取り組みは非常によい。実は JA 女性部でも同じようなことをやっている。 佐渡市でしっかりと使えるシステムにしてほしい。
渡辺	体験教室などを開くときにも講師を呼べるか？
吉良	呼ぶことができる。
戸田	若い人が料理をしなくなっている。地消を増やすには、島内で料理を普 及させないとならない。
甲斐	料理講習を実施すると、人は集まるので、効果はあると思う。根気よく 続ける必要がある。
岩崎	クックパッド的なレシピサイトで佐渡のレシピを提供できたら面白い。
渡辺	すぐに料理できるような半調理品を提供できたらいいかもしれない。
	（地産地消フェスタの内容について）
小西	スイーツコンテストについては、少なくともコンテスト形式での実施は 考え直す。理由は、当初の目的であった佐渡産米粉や果物の PR という 役割は果たしたし、現状の応募レシピは商品化につながっていないとい うこと。

渡辺	スイーツではなく、金山パンのようなものを募集したらどうか。
大瀬	地産地消ポイントのシールは今年実施しないのか？昨年のように 200 円以上からではなく、100 円以上からにできないか。200 円だと貼る商品が非常に限られる。
甲斐	地産地消シール自体は非常にいいことなので、必ず継続して欲しい。コンテストはやらなくても、スイーツの販売はやってほしい。
小西	スイーツの販売自体は実施する。やり方は要検討。ポイントシールについても、改めて検討する。
	(今後の会議について)
小西	メンバーに一般の消費者代表（主婦など）を 2～3 人加えたい。それについては問題ないか？
全員	問題ない。
磯部	今後の年間スケジュールはどのように考えているか？
小西	フェスタ部会と地場産品活用部会を設けて、数回集まって検討していく。